

明石市立大久保北中学校

第38回生
学年通信

しあわせなろう

2024年
5月2日
第157号

銀メダルから得たもの

現在、テレビのバラエティー番組等で活躍している吉田沙保里さんですが、現役時代はレスリング世界大会(五輪+世界選手権)の連覇記録は16連覇、個人戦は206連勝という前人未踏の大記録を打ち立てていました。

リオデジャネイロオリンピックの決勝で敗れ、表彰台でも涙していたが、今は「銀メダルで良かった」「金だと味わえない、負けた選手の気持ちも味わうことができる」「金メダルよりも得られるものが多い」と話していました。

そして、2019年の引退までだれよりも熱心に練習し、いつまでも目標とされる選手であるために、努力を続けました。

1組 ○○○○

高い目標を持っていた方が失敗することの方が多いし、挫折することの方が多いと思うけどその分失敗から得られるものも沢山あると思うから諦めないで失敗を認めてそこから自分なりに努力することが大切だとわかりました。

2組 ○○○○

自分の目標を達成した時に、達成したから終わりじゃなくて達成したから次は何をしようとかその先のことを目指すのは簡単ではないと思った。そのことに対して強い気持ちがあってもたくさん挫折しそうなことはあると思うし、自分が何を目標しているか見失ってしまうこともあると思う。それでも諦めないことが大事だと思った。

3組 ○○○○

目標に向かって努力するということが何かを諦めてしまおうと思った時にまだ頑張ろうと思える自分の中のきっかけになると思うので自分も常に大きな目標を持って努力していきたいと思いました。

4組 ○○○○

頑張るといことは人間にとって大切なことであるし、失敗をバネに頑張りを続けることができるので人としての成長に重要なことだと思う。

5組 ○○○○

これだけ自分の何倍以上練習している人がこの世界にはたくさんいることを知ると、自分もまだまだだな、もっと頑張らないとダメだなと思いました。僕も骨が折れたりして、怪我のせいにして練習も筋トレも全然してなかったけど、あの時もっと練習しとけばなと今になって後悔してしまいます。でも怪我をしたのも自分だし、その後努力しなかったのも自分の甘えなので、それを補うには人一倍努力しないとイケないなとこのビデオを見て思いました。負けたから次頑張ろうではなく、負けたのは何故か、どうやったら勝つかを考えていきたいなと思います。勉強も習い事も練習を工夫していきたいです。

6組 ○○○○

- ・負けるのは決して悪いことではなく、負けることで、自分の分析をしたり、学べることがあるということ学べた。
- ・勝つだけではなく、負けた気持ちを「力」にして頑張ることが大切。

7組 ○○○○

- ・今に満足せず、常に上を目指す。
- ・好きなものじゃないと努力するのが難しいので、苦手なものの好きなところを見出してそこから努力をしていきたい。

ちょっとしたことだけど ありがとう!

君たちの前向きな姿勢を見たり、前向きな発言を聞いたりするのが、私たちににとっては何よりの栄養剤になる気がします。4月はそんな前向きなことがたくさんあって、忙しい中にとってもやりがいを感じ過ぎていきました。

友達同士や私たちとのコミュニケーションもちょっとした『一言』があるかないかで大きく変わって来ると思います。先日の身体測定の時、私は体重の測定をしていました。そのうちの一人が、気持ちよく「お願いします。」「ありがとうございました。」と丁寧に言ってくれました。また、ある人はテストの答案を返している時、「ありがとうございます。」と言ってくれました。私たちは仕事ですので当たり前のことをしているだけですが、とても清々しい気持ちになり、人間関係を構築する上で、何気ない『あいさつ』や『お礼』などはとても大切だと感じました。無言だと殺伐した雰囲気になることも、一言添えるとパッと雰囲気が明るくなりますね。

毎日のやりとり帳やノートを集めてくれる人、配ってくれる人に『ありがとう』と一言言ってみてはどうでしょう?それだけで教室の中が明るくなりそうですね。

毎学ノート終了 継続は力なり



~5月1日

8冊目...⑤○○○○ 7冊目...⑤○○○○ 6冊目...⑤○○○○

5冊目...⑤○○○○ 4冊目...⑤○○○○ 3冊目...⑤○○○○

2冊目...⑤○○○○ ⑥○○○○

1冊目...⑤○○○○

